

※※※※※※※ 趣味に生きる(第58回) ※※※※※※※



## 趣味はオフロードバイクです



### どろぼう骨折(囚人骨折)編

鈴木 里美

「エンジンが付いた乗り物を乗り回すことは純粋なスポーツとは言えないね」— 門外漢たちが口にするこうした発言を、モトクロスライダーたちは何度となく聞かされてきた。

モトクロスライダーたちは、長年に渡って自分たちのスポーツが実際はどれだけ難しくハードなものなのかという事実を証明しようと奮闘してきた。米国モトクロス界における最高峰、AMA Pro Motocrossのチャンピオン、ライアン・ダンジーは先日ESPNの名物企画『Body Issue』に登場し、その見事な肉体美を世界に見せつけた。その隅々まで鍛え上げられた肉体を見れば、モトクロスは強いフィジカルを要求するスポーツだという事実がはっきりと見えてくるはずだ。

引用：Red Bull 公式 <https://www.redbull.com/jp-ja/motocross-ryan-dungey-naked-espn-body-issue-2016>



ESPN『Body Issue』2016年版に登場したライアン・ダンジー

鍛え上げられた肉体を披露するアメリカのモトクロスチャンピオン、ライアン・ダンジー

冒頭にカッコいいことを引用していますが、これは世界のトップの人の発言であり、一般のサンデーライダー、ホビーライダーはそこまでストイックに体を鍛えているわけではありません。

それでも凹凸路面を走り続けることは下手なりに無駄な運動量が多く、相当なエネルギーを必要とします。転倒等によるダメージもやはり多く、大抵の方は骨折経験者であるといっても過言ではありません。

そんな中、以前骨折した例です。

#### 《症例1》踵骨骨折(しょうこつ こっせつ)

モトクロスコースのジャンプで着地時に失敗しバイクと体が離れた状態で踵から落ちました。その際相当強く打ち付けたらしく踵骨骨折に至ります。踵骨=かかとの骨というのは人間の骨の中で一番大きく堅く丈夫な骨です。

それだけに骨折するとタチが悪い。

この時はかかとじゅうが放射状に砕け、痛いこと痛いこと。

もちろん歩けないのでコース上から担架で運ばれました。友人に車を運転してもらい自宅へ直行。歩けないし、松葉杖も持っていないので途中1人でトイレにも行けません。負傷してない方の片足でびよんびよん飛び跳ね、抱えてもらいながら動きます。

救急車を使って病院へ行く方がいいのですが、現地で病院へ運ばれると現地病院で入院させられる事がほとんどなので後が大変。また、通常の走る装備としてヘルメット、ブーツ、グローブはもちろん、胸にあてるプロテクターやウエ



踵 CT. 踵部分をうしろから撮影真ん中あたり右から左へ亀裂が



踵 CT 輪切り. 激しく粉碎

ストベルト、汗を瞬時に吸収し、外部へ発散させる高機能で高額なスポーツアンダーウェア（アンダーアーマーのようなもの）などを着用しているので、救急で脱がせられないからとウェアをチョキチョキ切られてしまうと悲しいから、動ける場合は何とか自分で着替えます。その上泥んこのまま、シャワーを浴びることも出来ずギプスで固められてしまうのも辛いのです。

病院に行き、CTを撮ると見事に粉々。びっくりです。

先生「あら～、見事に放射状に砕けちゃって」

私 「酷いですねえ」

先生「なかなかここまで砕けないよ。これはいわゆる『どろぼう骨折』ってやつだね」

私 「は??」

先生「どろぼうが見つかった時に慌てて逃げるために高い所から飛び降りてやっちゃうやつ。または囚人が脱獄する際に塀から飛び降りて踵折っちゃうから『囚人骨折』とも言うね」

(は一、なんちゅう名前の骨折だ。)

先生「粉々すぎてボルト打つ所もないから手術が出来ないよ、このままギプスで固めるね」

ギプスで固められたので足用防水シャワーカバーを購入しお風呂も入れます。

3ヵ月程松葉杖。半年ほどバイクも乗れず不自由な日々が続きましたが6ヵ月後には無事復活いたしました。しかし、踵保護のインソールはそれ以来ずっと欠かせません。



防水カバー

## 《症例 2》膝蓋骨脱臼

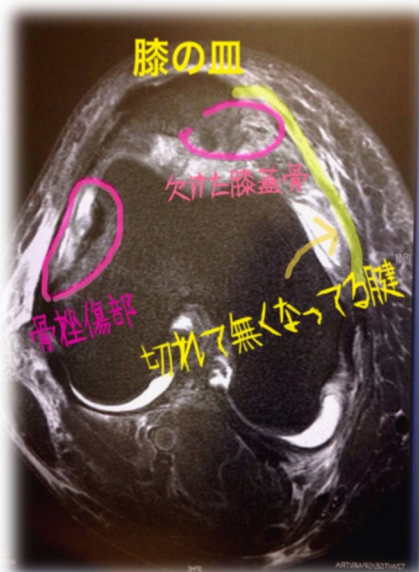
某コースにてタイヤ超え練習中に失敗しタイヤの横に転がり落ちました。その際バイクの下敷きになり、起き上がろうとしたところ立てません。



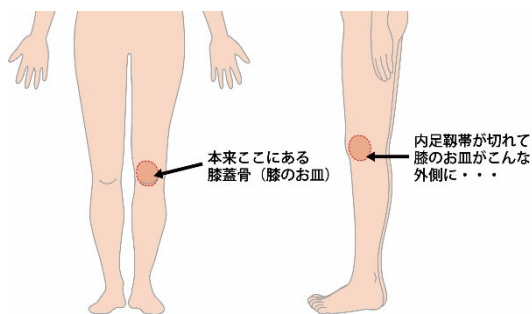
ダンプの巨大タイヤを縦に埋め込んで乗り越えます



押さえてないと膝のお皿がどっか行っちゃうので、救急車が来るまでの間養生テープで補強して待ちました。



膝輪切りMRI. 痛んだ骨と欠けた骨



お皿の解説

「あれ、痛くないのに？」

膝に全く力が入らず、担架で運ばれ、ウェアのズボンを脱ぎ、膝カップを外してみたら膝の皿が真横に90度、膝の横にありました。驚いて膝をポンと元に戻すように叩くと元の位置に戻りました？！

それでも立つことは不可能だったため救急車で運ばれ、近くの病院へ。救急で小児科医しかおらず、仕方なくレントゲンだけ撮り、またしても自宅近くの病院へ。

皿を固定する内側靭帯が切れていると膝のお皿の位置が固定できないため、内側靭帯から膝

のお皿の真ん中にアンカー止めするようなMPFL（内側膝蓋大腿靭帯）再建術を施術。

今の手術はほとんど傷口の小さい内視鏡術なので他の筋肉を傷つけないため、術後麻酔から覚めると「明日退院できますから」

心の声（え？いやいや、待って、歩けない。帰っても不自由だからもう1日居させて。）

リハビリすること数ヶ月、半年後からぼちぼち走り始め、9ヵ月後にはレースに戻る事が出来るようになりました。

まだまだ沢山骨折話はつきませんが、面白そうな写真はこの辺りでしたので。

見苦しいお写真いっぱいですみません。



手術前



手術後



ビス留め



入院中



手術後

鈴木里美 ※プロフィール※

医療系代理店でお絵かきしながら、オフロードバイクで遊んでいます。

観光地も近く観戦も楽しい主なレース  
2019年9月14～15日 北海道日高町  
<https://hidakamc.com>